

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク実習指導 (社会) I (DC205)			担当教員	野田 健・韓 榮芝・裴 孝承 中村 尚生・山下 彦		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・通年	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型
<p>「ソーシャルワーク実習指導 I」では、ディプロマポリシーに照らし、カリキュラムに沿って専門的知識・技能を習得し、それらを国際社会、及び社会生活における様々な課題に適用して解決を図ることができることを目的とし、次の 4 点を授業のねらいに据えている。</p> <p>① <u>ソーシャルワーク実習の意義について理解する。</u></p> <p>② <u>ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。</u></p> <p>③ <u>社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。</u></p> <p>④ <u>実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。</u></p> <p>これらを通して、福祉的な課題について情報収集し、分析するための専門的能力を身に付け、今年度の「ソーシャルワーク実習 I」及び、次年度のソーシャルワーク実習 II に備えてもらいたい。</p> <p>また、この授業は 2 年次前期の「ソーシャルワーク実習の理解」に引き続き、3 年次で開講される「ソーシャルワーク実習指導 II・III」の前段をなすものであり、実習事前学習の“入門”にあたる。従って、この授業の履修には、前期の「ソーシャルワーク実習の理解」を履修済みであることが前提である。</p>							①⑤⑥⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
専門力	・相談援助実習先の施設・機関の基本的概要を説明できる。			・授業内外レポート ・プレゼンテーション	30% 10%		
情報収集、分析力	・相談援助実習で学ぶ動機、目的、ねらいを明確に説明することができる。 ・実習日誌を事実と考察を区別して書くことができる。 ・実習日誌に記載することがらの要点を絞ることができる。			・授業内外レポート ・プレゼンテーション	10% 20%		
コミュニケーション力	・感じたこと、考えたことを分かりやすく伝える文章を書くことができる。 ・実習生として必要とされる熱心な取り組み姿勢を身につけている。 ・実習生として必要とされる礼儀作法を身につけている。			・授業内外レポート ・参加姿勢	20% 10%		
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席				受験要件			
合 計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
「授業内外レポート」(60%) は、授業内あるいは授業外に随時課した課題を評価する。「プレゼンテーション」(30%) は、課題の発表報告とその内容を評価する。「参加姿勢」(10%) は、授業への取り組み姿勢や態度を評価する。レポート、プレゼンテーションのフィードバックは授業内にて行う。							
授業の概要							
この授業では、担当教員がそれぞれ少人数クラスを受け持ち、15 回の授業を展開する。実習で何を学ぶのかを明確にした上で、実習施設・機関について調べ、実習計画書を作成するとともに、記録の書き方等を学修する。また、実習指導者・担当教員との三者協議を経て、実習の準備に入る。授業は個別ワークをはじめ、ディスカッション、グループワークの方法にて行い、課題作成時はポートフォリオなどの ICT を活用する。なお、1～8 回を前期、9 回を実習、10～15 回を後期に実施する。具体的な日程については、掲示板等を通して通知するため、履修者は留意すること。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教科書・参考書							
教科書・指定図書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 (2021) 『最新 社会福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習 [社会専門]』中央法規 参考書：小六法編集委員会 (2023) 『福祉小六法 2023 年版』みらい (法律を適時確認するために活用)							

授業外における学修及び学生に期待すること

ソーシャルワーク実習は社会福祉士養成教育の中心的な部分である。この機会を十分に活用し「ソーシャルワーカーの卵」としての自覚を深めてもらいたい。実習先において、多様な社会的・家族的・個人的背景をもった利用者と接するなかで、自己ならびに他者に対する理解の枠組みが根底から揺るがされる場面に遭遇することもある。さらに対人関係や自己の未熟さに戸惑うかもしれない。自分を見失うことなく、幾多の試練を成長につなげていくには、主体的な事前学習によって、自身の問題意識を深化・明確化させることが不可欠である。各自の研鑽に期待する。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
前期 1	前期全体オリエンテーション <u>実習及び実習指導の意義(スーパージョン含む。)</u>	「実習」の位置づけと意義、その目的・課題についての基本事項、授業の構成と方法、スケジュール、評価方法等について確認する。	予習:配布資料を読む。 復習:授業内容をまとめる。
2	<u>実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解</u>	実習で接する個人情報と福祉専門職の守るべき守秘義務についての理解を深める。「個人情報保護に関する誓約書」を作成する。	予習:個人情報保護、倫理綱領について調べる。 復習:誓約書を作成する。
3	<u>実際に実習を行う実習分野(利用者理解含む。)</u> と <u>施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解</u>	実習先施設・機関の法的根拠、理念、沿革の他、利用者、職員、事業内容等について調べ、情報を実習先の知識整理シートに整理する。	予習:自分の実習先について調べる。 復習:添削結果を踏まえ、シートを完成させる。
4	<u>実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成①</u>	実習に行くことを希望する理由、実習に関する不安を他学生と共有し、実習に行く目的、目標を明らかにする。	予習:資料を読む。 復習:計画書を作成する。
5	<u>実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成②</u>	ソーシャルワーク実習Ⅰで学びたい事項やその動機などについて文章化し、実習計画書を完成させる。	予習:計画書を作成する。 復習:計画書を完成させる。
6	<u>実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成③</u> —三者協議会	実習計画書をもとに、実習生・実習指導者・教員で三者協議を行う。	予習:実習指導者に質問・相談したいことを考える。 復習:計画書を修正する。
7	<u>実習記録への記録内容及び記録方法に関する理解</u>	実践記録の書き方を学んだ上で、体験したことを記録として作成する。	予習:日誌を書いてくる。 復習:日誌の書き方を振り返る。
8	実習前最終オリエンテーション	実習に関する最終的な確認を行う。実習の目的、マナーや服装・態度、実習における問題発生時の対応、感染症予防、個人情報保護について確認する。	予習:実習の準備を行う。 復習:授業内容を踏まえ、再度実習の準備を行う。
実習 9	<u>巡回指導</u> <u>実習先で必要とされるソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術に関する理解</u>	配属実習での巡回指導を行い、これまでの実習を振り返り、成果と課題を抽出する。また、今後の実習プログラムの確認を行う。また、ソーシャルワークの価値規範や倫理・知識・技術に関して確認する。	予習:実習体験をまとめ、報告・相談の準備をする。 復習:指導内容をまとめる。
後期 10	<u>多様な施設や事業所における現場体験学習や見学実習</u>	実習各分野の見学実習を行い、利用者・施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関し、基本的な理解をする。	予習:実習体験を整理する。 復習:授業内容をまとめる。
11	<u>実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成①</u>	ソーシャルワーク実習Ⅰで学んだ内容について、実習日誌をもとに、実習計画書に記した実習課題の達成状況や残された課題を整理する。	予習・復習:実習体験を基に実習報告書を作成する。
12	<u>実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成②</u>	ソーシャルワーク実習Ⅰで学んだことを実習報告書としてまとめる。	予習・復習:実習体験を基に実習報告書を作成する。
13	<u>実習の評価及び全体総括会</u> —実習報告会	ソーシャルワーク実習Ⅰの実習報告書を用いて、実習報告会を行う。	予習:発表の準備をする。 復習:実習報告会の振り返りを行う。
14	実習報告会への参加	ソーシャルワーク実習Ⅱを終えた実習生による実習報告会に参加し、次年度の実習に向けた情報収集を行う。	予習:実習報告会での質問を考えておく。 復習:実習報告会の振り返りを行う。
15	<u>実習の評価及び全体総括会</u>	ソーシャルワーク実習Ⅰやソーシャルワーク実習Ⅱで学んだことを振り返り、成果や課題をまとめ、今後の学修計画を立てる。	予習:1年間のまとめを行う。 復習:次年度の実習の準備を行う。